

1) 基本方針について

本計画は、水道法・厚生労働省令に基づく水質基準を満たしていることを確認し、市民の皆さまに「安全で安心して飲んでいただける水道水」を安定的に供給することを目的として、水質検査計画を策定し検査項目や回数、採水場所などを定めます。

2) 水道事業概要

上水道事業は、牧、岩倉、南部水源地の3浄水場の自己水道水及び県企業庁用水を、牧、長福寺、円山、上出配水池の4ヶ所の配水池で一旦貯めてから、市内全域に給水しています。沖島町には簡易水道があり浄水場1ヶ所、配水池1ヶ所で沖島本島に給水しています。

なお、平成20年度末の現状は、以下のとおりです。

| | | |
|-------------|-----------|----------------|
| 給水戸数 | 30,228 | 戸 |
| 給水人口 | 81,431 | 人 |
| 年間給水量(有収水量) | 9,008,697 | m ³ |
| 県水受水量 | 7,288,156 | m ³ |
| 1日平均配水量 | 27,011 | m ³ |
| 配水管総延長 | 431.75 | km |
| 1日最大配水量 | 30,862 | m ³ |

給水区域

近江八幡市水道事業の給水区域は、水道給水条例に掲げる市の区域内で、標高120m(合併前の安土町の区域においては、標高135m)以上の地帯を含まない。

各浄水場のろ過方式等

上水道事業

水系(配水池により分類)及び原水種別(浄水場別)等により分類しています。

牧水系

給水区域－北里学区全域、岡山学区、桐原学区の一部

浄水場名－牧浄水場

原水種別－琵琶湖表流水

計画取水量－7,620立方メートル

計画給水量－7,150立方メートル

浄水方法－急速ろ過方式

20年度1日平均送水量 4,957 m³

長福寺水系

給水区域－馬淵学区、武佐学区全域、桐原学区の一部、金田学区の一部

浄水場名－岩倉浄水場＋県企業庁馬淵浄水場

原水種別－地下水＋浄水受水(県水、琵琶湖表流水)

計画取水量－11,450立方メートル(地下水)

－ 5,100立方メートル(県水受水)

計画給水量－16,550立方メートル

浄水方法－脱炭酸処理(地下水)＋急速ろ過方式(県水受水)

20年度1日平均送水量 10,974 m³

内県水1日平均受水量 8,147 m³

円山水系

給水区域－島学区(沖島除く)、八幡学区、金田学区の一部
浄水場名－県企業庁馬淵浄水場
原水種別－浄水受水(県水、琵琶湖表流水)
計画給水量－17,000立方メートル(浄水受水)
浄水方法－急速ろ過方式(浄水受水)
20年度1日平均送水量 7,618 m³

安土北部地区水系

給水区域－安土学区の各地区
浄水場名－県企業庁馬淵浄水場
原水種別－浄水受水(県水、琵琶湖表流水)
計画給水量－4,800立方メートル(県水受水)
浄水方法－急速ろ過方式(浄水受水)
20年度1日平均送水量 2,434 m³
内県水1日平均受水量 2,434 m³

安土南部地区水系

給水区域－老蘇学区(西老蘇、東老蘇、内野、石寺地区)
浄水場名－南部水源地
原水種別－地下水
計画給水量－570立方メートル(地下水)
浄水方法－塩素消毒＋曝気処理(地下水) 急速ろ過方式(県水受水)
20年度1日平均送水量 1,077 m³

(浄水受水、県水の詳細)

給水区域－2市2町(近江八幡【(旧)近江八幡、安土】、東近江【(旧)八日市、五個荘、能登川、蒲生】、竜王、日野)
浄水場名－県企業庁馬淵浄水場
原水種別－琵琶湖表流水
計画取水量－92,000立方メートル
計画給水量－82,700立方メートル
浄水方法－急速ろ過方式

簡易水道事業

沖島水系

給水区域－沖島町(沖島本島のみ)
浄水場名－沖島簡易水道沖島浄水場
原水種別－琵琶湖表流水
計画取水量－345.6立方メートル
計画給水量－304.0立方メートル
浄水方法－急速ろ過方式
20年度1日平均送水量 138 m³

3) 水質管理上の留意点など

水系による留意点及び各浄水場での留意点

牧水系

- ・原水が琵琶湖表流水であるため、ほぼ安定的に良好な水質であるが、濁度監視とろ過工程管理を十分に行う必要があります。
- ・季節によって藻臭が発生する事があり、臭気監視を十分に行う必要があります。
- ・凝集剤にPACを使用しているため、アルミニウムの監視が必要であります。

長福寺水系

- ・県水は馬淵浄水場で十分な管理を行っていただいております、水質に対しては特に、留意する点はないと思われませんが、残留塩素の確認は必要であると考えられます。
- ・岩倉浄水場は地下水であり、配水池に送水するまで直接見られない構造であり、水質監視に留意する必要があります。

円山水系

- ・県水は馬淵浄水場で十分な管理を行っていただいております、水質に対しては特に、留意する点はないと思われませんが、残留塩素の確認は必要であると考えられます。

沖島簡水

- ・原水が琵琶湖表流水であるため、ほぼ安定的に良好な水質であるが、濁度監視とろ過工程管理を十分に行う必要があります。
- ・季節によって藻臭が発生する事があり、臭気監視を十分に行う必要があります。
- ・凝集剤にPACを使用しているため、アルミニウムの監視が必要であります。

安土北部地区水系

- ・県水は馬淵浄水場で十分な管理を行っていただいております、水質に対しては特に、留意する点はないと思われませんが、残留塩素の確認は必要であると考えられます。

安土南部地区水系

- ・南部水源は地下水であり、送水するまで直接見られない構造であり、水質監視に留意する必要があります。

給水栓出口の留意点

- ・蛇口からの検査項目は、消毒効果を確認する残留塩素測定と、濁り、味等で特に異常が無いことを確認します。
- ・給水管などに古い鉄管や鉛管が使用されている場合は、朝一番の水は飲料にせず雑用水としてお使い下さい。
- ・貯水槽を経由している蛇口では、貯水槽の管理が不十分な場合、残留塩素が減少したり、水質が悪化する事があります。所有又は管理されている方は十分な管理をお願いします。

4) 水質基準にかかわる水質検査項目・頻度・地点等

水道法で定められている水質基準検査及び毎日検査と、原水検査及び、目標値を設定して管理することが望ましいとされる水質管理目標設定項目検査等を実施します。検査項目の詳細については下記及び資料のとおりです。

① 基準項目検査

浄水全項目検査(浄水50項目) 年4回実施

6検体(牧配水系、長福寺配水系、円山配水系、安土北部地区水系、安土南部地区水系、沖島簡易水道)

- ・併せて残留塩素濃度測定を実施します。
- ・採水地点は各配水系の末端給水栓とします。

② 基準項目検査

浄水毎月検査(浄水9項目) 年8回実施

6検体(牧配水系、長福寺配水系、円山配水系、安土北部地区水系、安土南部地区水系、沖島簡易水道)

- ・併せて残留塩素濃度測定も実施します。
- ・採水地点は各配水系の末端給水栓とします。

③ 原水検査

(琵琶湖水38項目) 2検体(牧、沖島)

(地下水 36項目) 2検体(岩倉)1検体(安土南部水源地)

- ・採水地点は、各浄水場または取水口付近とする。
- ・原水検査については、年2回実施し、1回につき琵琶湖表流水2箇所、地下水原水2箇所を実施します。
- ・実施項目は水質基準項目の内、消毒副生成物、味、かび臭原因物質(地下水のみ)は除きます。
- ・琵琶湖原水はクリプトスポリジウム及びジアルジア検査を年2回実施します。
- ・原水はクリプト指標菌検査を年4回実施します。
- ・安土南部水源地は、トリクロロエチレン検査を年4回実施します。

④ 水質管理目標設定項目検査

(浄水28項目) 年1回実施

6検体(牧配水系、長福寺配水系、円山配水系、上出水系、南部水系、沖島簡易水道)

- ・採水地点は各配水系の末端給水栓とします。

5) 毎日検査等

各配水池系の給水栓出口において色、濁り、残留塩素について毎日検査を実施します。

牧浄水場においては原水について、水温・濁度・PHの測定を自動測定器により実施します。

牧浄水場出口では、濁度・PH・色度・残留塩素の測定を自動測定器により実施します。

岩倉浄水場出口では、濁度・残留塩素・PH・電気伝導率の測定を自動測定器により実施します。

沖島浄水場出口では、濁度・残留塩素の測定を自動測定器により実施します。

安土南部水源地出口では、残留塩素の測定を自動測定器により実施します。

6) 独自項目検査

牧浄水場 取水・原水検査

- ・大腸菌数等3項目 年12回実施
- ・臭気強度等2項目 年36回実施

牧浄水場 排水検査

- ・浮遊物質等 年12回実施

7) 臨時の水質検査

臨時の水質検査については、下記のような場合に実施し、実施項目は必要項目のみとし

- ・原水に異常が見られ検査の必要があると判断される場合。
- ・浄水過程において異常が見られ検査の必要があると判断される場合。
- ・水質について苦情、問い合わせがあり水質検査が必要と判断される場合。
- ・その他水質検査の必要があると判断される場合。

8) 水質検査方法

・水質基準に関する水質検査及び臨時の検査は、委託検査により実施します。

ア. 委託検査先は、検査機関が独自に精度監理を行うもの他、厚生労働省が定期的に実施している外部精度管理を行っている水道法第20条機関とします。

イ. 採水は委託業者が採水します。

ウ. 残留塩素濃度は採水時点に検査をします。

エ. 毎日検査は職員又は臨時、委託職員宅で職員、臨時、委託職員が行います。

9) 水質検査結果の公表

・浄水基準項目検査結果は近江八幡市ホームページ等で公表します。

・公表する際には、評価を記入します。

・この検査計画に見直す必要があると判断された場合は、年度途中であっても変更できるものとします。

10) その他

・水質汚染事故や水系感染症などの情報や発症があったときは、県庁や企業庁、東近江保健所、日本水道協会滋賀県支部、滋賀県水道協会、近隣市町村などと情報交換するとともに、連携して迅速に対応します。

・水質汚染事故発生などに対しては、河川管理者や環境部局とも連携し現地調査と適正な浄水処理を行い水道水の安全確保に努めます。

資料1 水質基準 検査項目

| 番号 | 項目 | 基準値 | 浄水 | 毎月 | 原水 | | 備考 |
|-----|------------------------------------|----------------|----|----|----|-----|----|
| | | | | | 湖水 | 地下水 | |
| 基01 | 一般細菌 | 100 個以下 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 基02 | 大腸菌 | 検出されないこと | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 基03 | カドミウム及びその化合物 | 0.0003 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基04 | 水銀及びその化合物 | 0.0005 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基05 | セレン及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基06 | 鉛及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基07 | ひ素及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基08 | 六価クロム化合物 | 0.05 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基09 | シアン化物イオン及び塩化シアン | 0.01 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基10 | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 10 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基11 | フッ素及びその化合物 | 0.8 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基12 | ホウ素及びその化合物 | 1.0 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基13 | 四塩化炭素 | 0.002 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基14 | 1,4-ジオキサン | 0.05 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基15 | シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン | 0.04 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基16 | ジクロロメタン | 0.02 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基17 | テトラクロロエチレン | 0.01 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基18 | トリクロロエチレン | 0.03 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基19 | ベンゼン | 0.01 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基20 | 塩素酸 | 0.6 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基21 | クロロ酢酸 | 0.02 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基22 | クロロホルム | 0.06 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基23 | ジクロロ酢酸 | 0.04 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基24 | ジブロモクロロメタン | 0.1 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基25 | 臭素酸 | 0.01 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基26 | 総トリハロメタン | 0.1 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基27 | トリクロロ酢酸 | 0.2 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基28 | ブロモジクロロメタン | 0.03 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基29 | ブロモホルム | 0.09 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基30 | ホルムアルデヒド | 0.08 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 基31 | 亜鉛及びその化合物 | 1 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基32 | アルミニウム及びその化合物 | 0.2 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基33 | 鉄及びその化合物 | 0.3 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基34 | 銅及びその化合物 | 1 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基35 | ナトリウム及びその化合物 | 200 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基36 | マンガン及びその化合物 | 0.05 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基37 | 塩化物イオン | 200 mg/L以下 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 基38 | 硬度(Ca, Mg等) | 300 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基39 | 蒸発残留物 | 500 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基40 | 陰イオン界面活性剤 | 0.2 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基41 | ジェオスミン | 0.00001 mg/L以下 | ○ | | ○ | | |
| 基42 | 2-メチルイソボルネオール | 0.00001 mg/L以下 | ○ | | ○ | | |
| 基43 | 非イオン界面活性剤 | 0.02 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基44 | フェノール類 | 0.005 mg/L以下 | ○ | | ○ | ○ | |
| 基45 | 有機物(TOC) | 3 mg/L以下 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 基46 | PH | 5.8-8.6以下 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 基47 | 味 | 異常でない | ○ | ○ | | | |
| 基48 | 臭気 | 異常でない | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 基49 | 色度 | 5 度以下 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 基50 | 濁度 | 2 度以下 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 合計 | | | 50 | 9 | 38 | 36 | |

資料2 水質基準及び用途など

| 番号 | 項目 | 基準値 | (備考)用途など |
|-----|------------------------------------|---------------|--|
| 基1 | 一般細菌 | 100 個以下 | 汚染された水には多い |
| 基2 | 大腸菌 | 不検出 不検出 | 糞便性の汚水で汚染されている疑いあり、残塩0.1以上、10分間で100%殺菌 |
| 基3 | カドミウム及びその化合物 | 0.0003 mg/L以下 | メッキ、充電式電池、顔料 |
| 基4 | 水銀及びその化合物 | 0.0005 mg/L以下 | 温度計、水銀ランプ、医薬品、病院、 |
| 基5 | セレン及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | 整流器、磁器の色つけ、半導体 |
| 基6 | 鉛及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | 蓄電池、合金、顔料、鉛管 |
| 基7 | ヒ素及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | 半導体材料、顔料、農薬、殺鼠剤 |
| 基8 | 六価クロム化合物 | 0.05 mg/L以下 | メッキ、電池、木材防虫剤 |
| 基9 | シアン化物イオン及び塩化シアン | 0.01 mg/L以下 | メッキ、金銀精錬、写真 |
| 基10 | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 10 mg/L以下 | 家庭排水、肥料、食品防腐剤、 |
| 基11 | フッ素及びその化合物 | 0.8 mg/L以下 | アルミ精錬、ガラス加工、電子工業 |
| 基12 | ホウ素及びその化合物 | 1 mg/L以下 | 金属表面処理剤、ガラス、エナメル工業で使用 |
| 基13 | 四塩化炭素 | 0.002 mg/L以下 | フロンガスの原料、エアゾル用噴射剤、金属洗浄用、塗料、プラスチックの製造 |
| 基14 | 1, 4-ジオキサン | 0.05 mg/L以下 | 溶剤、非イオン界面活性剤などの製造工程において副生し、洗剤などに不純物として存在する |
| 基15 | シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン | 0.04 mg/L以下 | 熱可逆性樹脂の原料、染料抽出剤、溶剤 |
| 基16 | ジクロロメタン | 0.02 mg/L以下 | 油脂等の抽出剤、塗料剥離剤、アセチルセルロースの溶媒 |
| 基17 | テトラクロロエチレン | 0.01 mg/L以下 | ドライクリーニング洗浄剤、金属洗浄用溶剤、フロン113の原料 |
| 基18 | トリクロロエチレン | 0.03 mg/L以下 | ドライクリーニング、金属洗浄用、吸入鎮痛剤、麻酔 |
| 基19 | ベンゼン | 0.01 mg/L以下 | 合成ゴム、合成皮革、有機顔料、合成繊維 |
| 基20 | 塩素酸 | 0.6 mg/L以下 | (塩素酸ナトリウム)除草剤、分析用試薬、酸化剤、染色、金属表面処理剤、マッチ、花火 |
| 基21 | クロロ酢酸 | 0.02 mg/L以下 | 除草剤、界面活性剤、医薬品、香料、有機物質と次亜とが反応し生成される消毒副生成物質 |
| 基22 | クロロホルム | 0.06 mg/L以下 | フロン21、22の原料、消毒剤、溶剤、以前は麻酔として利用 |
| 基23 | ジクロロ酢酸 | 0.04 mg/L以下 | 有機物質や臭素が次亜とが反応し生成される消毒副生成物質 |
| 基24 | ジブロモクロロメタン | 0.1 mg/L以下 | トリハロメタン成分の一つ、 |
| 基25 | 臭素酸 | 0.01 mg/L以下 | 小麦粉改良材、オゾン処理時、消毒剤として次亜生成時に臭素酸が生成、 |

| | | | | |
|-----|---------------|---------|--------|---|
| 基26 | 総トリハロメタン | 0.1 | mg/L以下 | フミン質、たんぱく質、アミノ酸等と消毒の遊離塩素が反応して生成される。 |
| 基27 | トリクロロ酢酸 | 0.2 | mg/L以下 | 医薬品の原料、除草剤、腐食剤、塗装剥離材にも使われる消毒副生成物質 |
| 基28 | プロモジクロロメタン | 0.03 | mg/L以下 | トリハロメタン成分の一つ、 |
| 基29 | プロモホルム | 0.09 | mg/L以下 | トリハロメタン成分の一つ、鉱物分析の浮遊試験、吸入麻酔剤等に使用 |
| 基30 | ホルムアルデヒド | 0.08 | mg/L以下 | エポキシ樹脂塗料およびアクリル樹脂塗料の原料にも使われ消毒副生成物質、ホルマリンともいう |
| 基31 | 亜鉛及びその化合物 | 1 | mg/L以下 | トタン板の製造、真鍮の合金材料、乾電池等 |
| 基32 | アルミニウム及びその化合物 | 0.2 | mg/L以下 | 自然中にも含まれるが、量は少ない、凝集剤に使われる(PAC) |
| 基33 | 鉄及びその化合物 | 0.3 | mg/L以下 | 鉄管などから溶出、地下水にも含まれるがほとんど無害 |
| 基34 | 銅及びその化合物 | 1 | mg/L以下 | 銅鉱山、銅管、農薬、メッキ工場 |
| 基35 | ナトリウム及びその化合物 | 200 | mg/L以下 | 食塩、医薬、食品、ガラス |
| 基36 | マンガン及びその化合物 | 0.05 | mg/L以下 | 特殊鋼の脱酸、ガラスの着色、染色、乾電池 |
| 基37 | 塩化物イオン | 200 | mg/L以下 | 水中の塩化ナトリウムと塩化カルシウムの範囲、味の範囲 |
| 基38 | 硬度(Ca,Mg等) | 300 | mg/L以下 | 土質による、日本はほとんど軟水、炭酸カルシウムが多いと腐食性が大きい、120以上硬水 60以下軟水 |
| 基39 | 蒸発残留物 | 500 | mg/L以下 | カルシウム、マグネシウム、ナトリウムなど地下水では、平均100から150 |
| 基40 | 陰イオン界面活性剤 | 0.2 | mg/L以下 | 洗濯用、台所洗剤、化粧品、医薬品、製紙などに利用 |
| 基41 | ジオスミン | 0.00001 | mg/L以下 | かび臭の原因物質、アナベナにより産生される平成19年3月31日までは0.00002 |
| 基42 | 2-メチルイソボルネオール | 0.00001 | mg/L以下 | かび臭の原因物質、フォルミディウムやオッシンラトリアにより産生される、19年3月31日までは0.00002 |
| 基43 | 非イオン界面活性剤 | 0.02 | mg/L以下 | 食品添加物、シャンプー等の洗剤、化粧品、等 |
| 基44 | フェノール類 | 0.005 | mg/L以下 | 消毒剤、防腐剤、合成樹脂、染料の原料、天然には存在しない |
| 基45 | 有機物(TOC) | 3 | mg/L以下 | 下水や工場廃水の混入により増加する |
| 基46 | pH | 5.8-8.6 | 以下 | 酸性廃液を出す業種;化学薬品、メッキ、鉄鋼業、パルプ アルカリ業種;化学薬品、なめし、織物 |
| 基47 | 味 | 異常でない | | 溶存する物質によって味を呈する |
| 基48 | 臭気 | 異常でない | | 有機化合物によって臭気が出る場合が多い |
| 基49 | 色度 | 5 | 度以下 | 天然水中の色度はフミン質による、鉄マンガンの酸化によって発生が多い |
| 基50 | 濁度 | 2 | 度以下 | 降雨等により発生する 粘土粒子によるものが多い 0.1以下の浄水処理を目標とする |

水質管理目標設定項目

| 番 号 | 項 目 | 目 標 値 | 浄 水 | 毎 月 | 原 水 | | 備 考 |
|-----|---------------------|---------------------------------|-----|-----|-----|-------|-----|
| | | | | | 湖 水 | 地 下 水 | |
| 目01 | アンチモン及びその化合物 | 0.015 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目02 | ウラン及びその化合物 | 0.002 mg/L以下(暫定) | ○ | | | | |
| 目03 | ニッケル及びその化合物 | 0.01 mg/L以下(暫定) | ○ | | | | |
| 目04 | 亜硝酸態窒素 | 0.05 mg/L以下(暫定) | ○ | | | | |
| 目05 | 1, 2-ジクロロエタン | 0.004 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目08 | トルエン | 0.2 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目09 | フタン酸ジ(2-エチルヘキシル) | 0.1 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目10 | 亜塩素酸 | 0.6 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目12 | 二酸化塩素 | 0.6 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目13 | ジクロロアセトニトリル | 0.01 mg/L以下(暫定) | ○ | | | | |
| 目14 | 抱水クロラール | 0.02 mg/L以下(暫定) | ○ | | | | |
| 目15 | 農薬類 | 比の和1 mg/L以下 | ○ | | | | 別紙 |
| 目16 | 残留塩素 | 1 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目17 | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | 10mg/L以上 100mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目18 | マンガン及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目19 | 遊離炭酸 | 20 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目20 | 1, 1, 1-トリクロロエタン | 0.3 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目21 | メチル-tert-ブチルエーテル | 0.02 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目22 | 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) | 3 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目23 | 臭気強度(TON) | 3 以下 | ○ | | | | |
| 目24 | 蒸発残留物 | 30mg/L以上 200mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目25 | 濁度 | 1 度以下 | ○ | | | | |
| 目26 | pH値 | 7.5 程度 | ○ | | | | |
| 目27 | 腐食性(ランゲリア指数) | -1程度以上とし、極力0に近づける | ○ | | | | |
| 目28 | 従属栄養細菌 | 1mlの検水で形成される集落数が 2,000以下(暫定) | ○ | | | | |
| 目29 | 1,1-ジクロロエチレン | 0.1 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 目30 | アルミニウム及びその化合物 | 0.1 mg/L以下 | ○ | | | | |
| 合計 | | | 27 | | | | |

水質管理目標設定項目の分類など

| 番号 | 項目 | 目標値 | 備考 |
|-----|---------------------|---------------------------------|-------|
| 目01 | アンチモン及びその化合物 | 0.015 mg/L以下 | 無機物質 |
| 目02 | ウラン及びその化合物 | 0.002 mg/L以下(暫定) | |
| 目03 | ニッケル及びその化合物 | 0.01 mg/L以下(暫定) | |
| 目04 | 亜硝酸態窒素 | 0.05 mg/L以下(暫定) | |
| 目05 | 1, 2-ジクロロエタン | 0.004 mg/L以下 | 有機物質 |
| 目08 | トルエン | 0.2 mg/L以下 | |
| 目09 | フタル酸ジ(2-エチルヘキシル) | 0.1 mg/L以下 | |
| 目10 | 亜塩素酸 | 0.6 mg/L以下 | 消毒副成物 |
| 目12 | 二酸化塩素 | 0.6 mg/L以下 | |
| 目13 | ジクロロアセトニトリル | 0.01 mg/L以下(暫定) | |
| 目14 | 抱水クロラール | 0.02 mg/L以下(暫定) | |
| 目15 | 農薬類 | 比の和1 mg/L以下 | 農薬 |
| 目16 | 残留塩素 | 1 mg/L以下 | 臭気 |
| 目17 | カルシウム、マグネシウム等(硬度) | 10mg/L以上 100mg/L以下 | 味 |
| 目18 | マンガン及びその化合物 | 0.01 mg/L以下 | 着色 |
| 目19 | 遊離炭酸 | 20 mg/L以下 | 味 |
| 目20 | 1, 1, 1-トリクロロエタン | 0.3 mg/L以下 | 臭気 |
| 目21 | メチル-tert-ブチルエーテル | 0.02 mg/L以下 | 臭気 |
| 目22 | 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) | 3 mg/L以下 | 味 |
| 目23 | 臭気強度(TON) | 3 以下 | 臭気 |
| 目24 | 蒸発残留物 | 30mg/L以上 200mg/L以下 | 味 |
| 目25 | 濁度 | 1 度以下 | 濁り |
| 目26 | pH値 | 7.5 程度 | 腐食 |
| 目27 | 腐食性(ランゲリア指数) | -1程度以上とし、極力0に近づける | |
| 目28 | 従属栄養細菌 | 1mlの検水で形成される集落数が 2,000以下(暫定) | 指標細菌 |
| 目29 | 1,1-ジクロロエチレン | 0.1 mg/L以下 | 有機物質 |
| 目30 | アルミニウム及びその化合物 | 0.1 mg/L以下 | 無機物質 |

資料5 農薬類

| 番号 | 項目名 | 目標値(mg/L) | 用途 |
|----|--------------------------|-----------|---------|
| 1 | チウラム | 0.02 | 殺菌剤 |
| 2 | シマジン(CAT) | 0.003 | 除草剤 |
| 3 | チオベンカルブ | 0.02 | 除草剤 |
| 4 | 1, 3-ジクロロプロペン(D-D) | 0.002 | 土壌薫蒸 |
| 5 | イソキサチオン | 0.008 | 殺虫剤 |
| 6 | ダイアジノン | 0.005 | 殺虫剤 |
| 7 | フェニトロチオン(MEP) | 0.003 | 殺虫剤 |
| 8 | イソプロチオラン(IPT) | 0.3 | 殺菌剤、殺虫剤 |
| 9 | クロタロニル(TPN) | 0.05 | 殺菌剤 |
| 10 | プロピザミド | 0.05 | 除草剤 |
| 11 | ジクロルボス(DDVP) | 0.008 | 殺虫剤 |
| 12 | フェノブカルブ(BPMC) | 0.03 | 殺虫剤 |
| 13 | クロルニトロフェン(CNP):失効農薬 | 0.0001 | 除草剤 |
| 14 | CNP-アミノ体 | (合計値) | |
| 15 | イプロベンホス(IBP) | 0.008 | 殺菌剤 |
| 16 | EPN | 0.004 | 殺虫剤 |
| 17 | ベンタゾン | 0.2 | 除草剤 |
| 18 | カルボフラン(カルボスルファン代謝物) | 0.005 | 殺虫剤 |
| 19 | 2, 4-ジクロロフェノキシ酢酸(2, 4-D) | 0.03 | 除草剤 |
| 20 | トリクロピル | 0.006 | 除草剤 |
| 21 | アセフェート | 0.08 | 殺虫剤 |
| 22 | イソフェンホス | 0.001 | 殺虫剤 |
| 23 | クロルピリホス | 0.003 | 殺虫剤 |
| 24 | トリクロルホン(DEP) | 0.03 | 殺虫剤 |
| 25 | ピリダフェンチオン | 0.002 | 殺虫剤 |
| 26 | イプロジオン | 0.3 | 殺菌剤 |
| 27 | エトジアゾール(エクロメゾール) | 0.004 | 殺菌剤 |
| 28 | オキシ銅 | 0.04 | 殺菌剤 |
| 29 | キャプタン | 0.3 | 殺菌剤 |
| 30 | クロロネブ | 0.05 | 殺菌剤 |
| 31 | トルクロホスメチル | 0.2 | 殺菌剤 |
| 32 | フルトラニル | 0.2 | 殺菌剤 |
| 33 | ペンシクロン | 0.04 | 殺菌剤 |
| 34 | メタラキシル | 0.05 | 殺菌剤 |
| 35 | メプロニル | 0.1 | 殺菌剤 |
| 36 | アシュラム | 0.2 | 除草剤 |
| 37 | ジチオピル | 0.009 | 除草剤 |
| 38 | テルブカルブ(MBPMC):失効農薬 | 0.02 | 除草剤 |
| 39 | ナプロバミド | 0.03 | 除草剤 |
| 40 | ピリブチカルブ | 0.02 | 除草剤 |
| 41 | ブタミホス | 0.01 | 除草剤 |
| 42 | ベンスリド(SAP) | 0.1 | 除草剤 |
| 43 | ベンフルラリン(ベスロジン) | 0.08 | 除草剤 |
| 44 | ペンディメタリン | 0.1 | 除草剤 |
| 45 | メコプロップ(MCPP) | 0.005 | 除草剤 |
| 46 | メチルダイムロン | 0.003 | 除草剤 |
| 47 | アラクロール | 0.01 | 除草剤 |
| 48 | カルバリル(NAC) | 0.05 | 殺虫剤 |
| 49 | エディフェンホス(EDDP) | 0.006 | 殺菌剤 |
| 50 | ピロキロン | 0.04 | 殺菌剤 |
| 51 | フサライド | 0.1 | 殺菌剤 |
| 52 | メフェナセツト | 0.02 | 除草剤 |
| 53 | プレチラクロール | 0.04 | 除草剤 |
| 54 | イソプロカルブ(MIPC) | 0.01 | 殺虫剤 |
| 55 | チオファネートメチル | 0.3 | 殺菌剤 |
| 56 | テニクロール | 0.2 | 除草剤 |
| 57 | メチダチオン(DMTP) | 0.004 | 殺虫剤 |
| 58 | カルプロバミド | 0.04 | 殺菌剤 |
| 59 | プロモブチド | 0.1 | 除草剤 |
| 60 | モリネート | 0.005 | 除草剤 |
| 61 | プロシミドン | 0.09 | 殺菌剤 |

| | | | |
|-----|--------------|--------|-----|
| 62 | アニロホス | 0.003 | 除草剤 |
| 63 | アトラジン | 0.01 | 除草剤 |
| 64 | ダラボン | 0.08 | 除草剤 |
| 65 | ジクロベニル(DBN) | 0.01 | 除草剤 |
| 66 | ジメエート | 0.05 | 殺虫剤 |
| 67 | ジクワット | 0.005 | 除草剤 |
| 68 | ジウロン(DCMU) | 0.02 | 除草剤 |
| 69 | エンドスルファン | 0.01 | 殺虫剤 |
| 70 | エトフェンプロックス | 0.08 | 殺虫剤 |
| 71 | フェンチオン(MPP) | 0.001 | 殺虫剤 |
| 72 | グリホサート | 2 | 除草剤 |
| 73 | マラソン(マラチオン) | 0.05 | 殺虫剤 |
| 74 | メソミル | 0.03 | 殺虫剤 |
| 75 | ベノミル | 0.02 | 殺菌剤 |
| 76 | ベンフラカルブ | 0.04 | 殺虫剤 |
| 77 | シメリン | 0.03 | 除草剤 |
| 78 | ジメピペレート | 0.003 | 除草剤 |
| 79 | フェントエート(PAP) | 0.004 | 殺虫剤 |
| 80 | プロプロフェジン | 0.02 | 殺虫剤 |
| 81 | エチルチオメチン | 0.004 | 殺虫剤 |
| 82 | プロベナゾール | 0.05 | 殺菌剤 |
| 83 | エスプロカルブ | 0.03 | 除草剤 |
| 84 | ダイムロン | 0.8 | 除草剤 |
| 85 | ビフェノックス | 0.2 | 除草剤 |
| 86 | ペンシルフロンメチル | 0.4 | 除草剤 |
| 87 | トリシクラゾール | 0.08 | 殺菌剤 |
| 88 | ピペロホス | 0.0009 | 除草剤 |
| 89 | ジメタメリン | 0.02 | 除草剤 |
| 90 | アゾキシストロビン | 0.5 | 殺菌剤 |
| 91 | イミノクタジン酢酸塩 | 0.006 | 殺菌剤 |
| 92 | ホセチル | 2 | 殺菌剤 |
| 93 | ポリカーバメート | 0.03 | 殺菌剤 |
| 94 | ハロスルフロンメチル | 0.3 | 除草剤 |
| 95 | フラザスルフロン | 0.003 | 除草剤 |
| 96 | チオジカルブ | 0.08 | 殺虫剤 |
| 97 | プロビコナゾール | 0.05 | 殺菌剤 |
| 98 | シデュロン | 0.3 | 除草剤 |
| 99 | ピリプロキシフェン | 0.3 | 殺虫剤 |
| 100 | トリフルラリン | 0.006 | 除草剤 |
| 101 | カフェンストール | 0.008 | 除草剤 |
| 102 | フィプロニル | 0.0005 | 殺虫剤 |